

國島市長に問う!!

一般質問



12月8日、9日、10日の3日間、15人の議員が市政全般について質問しました。

12月8日(火)

	議員名	掲載ページ
1	沼津光夫	6
2	榎隆司	7
3	今井武男	7
4	伊東寿充	8
5	谷村昭次	8
6	西田稔	9

12月9日(水)

	議員名	掲載ページ
1	車戸明良	9
2	水門義昭	10
3	藤江久子	10
4	山腰恵一	11
5	中箴博之	11
6	谷澤政司	12

12月10日(木)

	議員名	掲載ページ
1	松山篤夫	12
2	上嶋希代子	13
3	牛丸尋幸	13

※本会議などの様子は、市議会のホームページ・ヒットネットTVでご覧いただけます。
(インターネットでは、当日の生中継のほか録画配信により、いつでも閲覧することができます。)

<http://www.city.takayama.lg.jp/gikai/1002453/1004843/1002465.html>

全対策事業の進捗状況は。

除雪対策について

また、位置指定道路の管理は所有者や管理会社であり、除雪も同様である。ただし、災害等が発生し、市民生活に大きな影響を及ぼすと判断される場合は市でも除雪する。

位置指定道路について

位置指定道路は行き止まりであることや勾配など市道認定基準に合致しないケースが多く、市道として認定することは難しい。



沼津 光夫 議員

市の道路行政は？

今年度は市道5路線で、延長1,630mの危険木の伐採を行う予定である。年度内には完了する。

高齢等により自力での除雪が困難な方への対応は。

これまでに少ない流量でも効率よく雪の処理ができるよう、延長2,690mの消融雪側溝の整備を進めてきた。今年度5か年計画を更新し、平成31年度までの5年間で延長2,980mの整備を計画している。

また、まちづくり協議会をはじめ、市民の皆さんと協力して高齢者宅や空家などの除雪に、取り組んでいきたい。

今後の流雪・消雪計画は。

消融雪には、地下熱や下水道の熱利用等も有効である。他都市の事例も参考にしながら、市民の負担軽減を図っていきたい。



除雪の様子

除雪に対する市長の考え方は。

雪またじは、市民の協力がなくては対応できない。今後ますます高齢化が進む中、まちづくり協議会や市民ボランティア等との連携を図り、協働での雪またじを一層推進する。地域での助け合いや行政と地域の相互協力のもと、高齢者等が利用しやすい消融雪側溝等の施設整備に取り組んでいく。